



中国の習近平体制における全ての農業戦略は「緑の山河は金山・銀山に他ならない」という言葉に帰結できる。これは、自然生態系こそ経済発展の源であるという意味で、習氏が浙江省トップの党委員会書記だった20



中国農業のグリーン発展

地球環境戦略研究機関主任研究員 金振氏

中国の農業グリーン発展レベル・モニタリング・評価方法

5大分類	18項目
農業資源の保護と合理的な開発	①耕地保有率②耕地品質等級の向上③かんがい水の有効利用係数
農産品産地の環境マネジメント	①化学肥料利用率②農薬使用強度③稲わら総合利用率④家畜・家禽(かきん)のふん尿総合利用率⑤農業用プラスチックフィルムの処理率
農業生態系の修復とガバナンス	①森林被覆率②草原総合植被率③水土保持率④汚染された耕地の安全利用率⑤村の緑化被覆率
グリーン産業発展レベル	①農業付加価値単位数当たりのエネルギー消費量②緑色優良農産物生産規模の割合③農産物品質安全の定期モニタリングの総合合格率④農村住民1人当たり可処分所得
持続可能なグリーン・イノベーション	①作物の耕作・種まき・収穫の総合機械化率②農業科学技術進歩の経済貢献

(中国農業農村部の資料を基に作成)

05年の論断にさかのぼる。そして、最高権力機関の中国共産党中央委

指標公表、進展に注目

員会は17年、初めて農村地域振興戦略を提唱し、この中で農業のグリーン発展方針を鮮明に打ち出す形で具現化した。以降、農業のグリーン発展という用語は、政策用語、または、学術概念として活発に議論されたが、明確な政策定義があったわけではない。ただ、これまでのグリーン発展に関する政策フレームワークを振り返ると、土地等資源の節約、農業と生態系保護の両立、科学技術

の現代化、持続可能な農村地域振興などが重点対策として挙げられる。政府が初めて農業分野におけるグリーン発展の概念について公式な見解を示したのは、23年10月。日本の農水省に当たる中国農業農村部が発表した「農業グリーン発展レベル・モニタリング・評価方法(暫定施行)」(評価指標)。

評価指標には①農業資源の保護と合理的な開発②農産品産地の環境マネジメント③農業生態系の修復とガバナンス④グリーン産業発展レベル⑤持続可能なグリーン・イノベーション——の5分野と18項目が含まれる。評価指標の発表は、農業のグリーン発展がどのレベルで進んでいるかを継続的にモニタリングし、評価できる科学的な政策ツールが生まれたことを意味する。現在では、実験的な運用であるため、データの信ぴょう性や報告および検証体制の強化などのさまざまな課題と向き合う必要がある。

ただ、運用実績や政策効果が地方政府のトップや主要政策担当者の人事評価制度とリンクする可能性もあり、現場レベルでどのように指標達成に向けて取り組むか注視したい。